



県立美術館

深く耕しびっしり種まく、のびた苗をまばらにしよう。ちがった種類のは、すいて取り除こう。(岩波文庫『史記世家・下』)

政治の表舞台から身を引いた副島種臣58歳の

文字に激しい感情 迫力の書

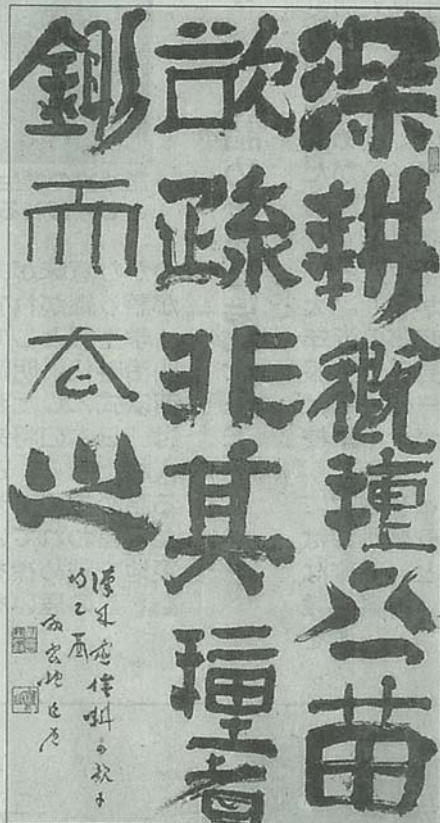
耕田歌こうでんか

書。左下、本文の後に「漢朱虚侯耕田歌」とある。「耕田歌」は中国前漢時代の歴史家、司馬遷の『史記』の「斉悼恵王世家」に朱虚侯(紀元前200~177)の歌として収録される。

朱虚侯劉章は齊の悼恵王劉肥の次子で、漢の高祖劉邦の孫。紀元前181年、20歳の朱虚侯は高祖の皇后呂雉から宴会の幹事役を命じられ、この歌をよみ、宴を勝手に中座しようとした呂氏一族の一人を斬殺し、呂雉に「軍法に従い、これを処刑いたしました」と報告したと記されている。

古代中国の書体をもとに、詩の背景にある激しい感情を文字にこめた圧倒的な迫力の書である。

(県立美術館 福井尚寿)



23 佐賀市城内1の15の  
電話0952・24  
・3947。バス停  
「博物館前」下車、徒  
歩1分。開館は午前9  
時半〜午後6時。休館  
日は月曜。

副島種臣(1828~1905)  
作/1幅/174㌻×93.6  
㌻/紙本墨書/掛幅装/  
明治18(1885)年/県立  
美術館所蔵/7月3日ま  
で、玉手箱2「蒼海 副  
島種臣一書の子カラ」  
で展示中